

SBI-PIMCO ジャパン・ベターインカム・ バランス・ファンド

愛称 ベタイン・バランス

追加型投信／内外／資産複合

第2期末(2019年8月30日)	
基準価額	9,529円
純資産総額	109百万円
第2期	
騰落率	△ 1.75%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○ 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○ 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○ 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

< 運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目録見書・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

交付運用報告書

第2期

決算日: 2019年8月30日

作成対象期間: 2018年8月31日～2019年8月30日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI-PIMCO ジャパン・ベターインカム・バランス・ファンド(愛称:ベタイン・バランス)」は、2019年8月30日に第2期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、投資対象ファンドへの投資を通じ、日本債券の運用により安定性を保ちながら、機動的な資産配分比率の見直しにより、より安定的かつ高いリターンの獲得を目指して運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社

〒106-6015 東京都港区六本木1-6-1



03-6229-0147

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)



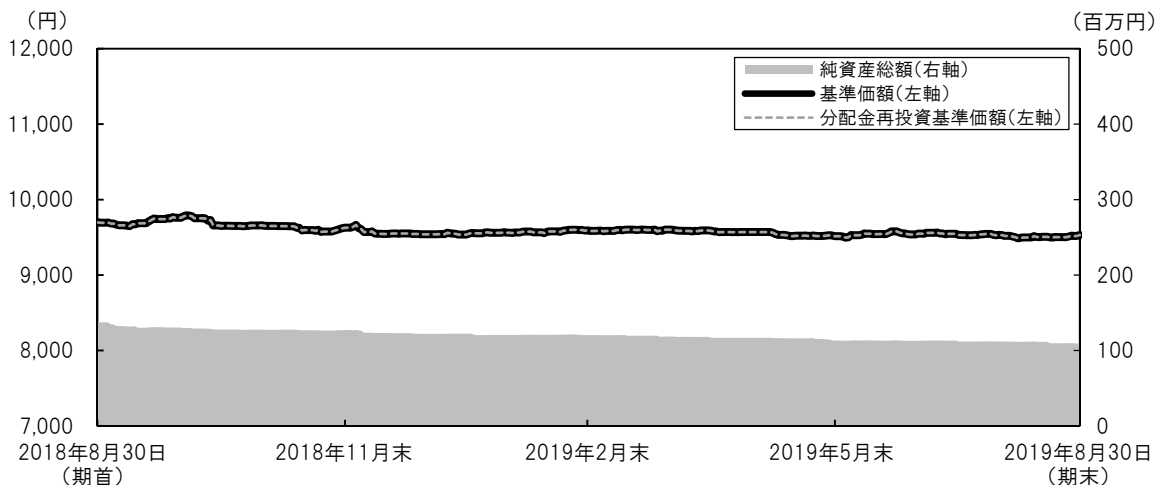
<https://www.sbibim.co.jp/>



ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

運用経過

≪ 基準価額等の推移 ≫ (2018年8月31日～2019年8月30日)



期 首 : 9,699円

期 末 : 9,529円(既払分配金(税込み):0円)

騰 落 率 : Δ 1.75%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

≪ 基準価額の主な変動要因 ≫ (2018年8月31日～2019年8月30日)

【上昇要因】

日本債券や海外債券の利子収入が積み上がったことが、基準価額の上昇要因となりました。

【下落要因】

世界各国の債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと、日本株が下落したことおよび信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

≪ 1万口当たりの費用明細 ≫ (2018年8月31日～2019年8月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝ 期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(34)	(0.35)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.14)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.03)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	145	1.51	(b) その他費用＝ 期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(52)	(0.54)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(93)	(0.97)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	195	2.03	
期中の平均基準価額は、9,593円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

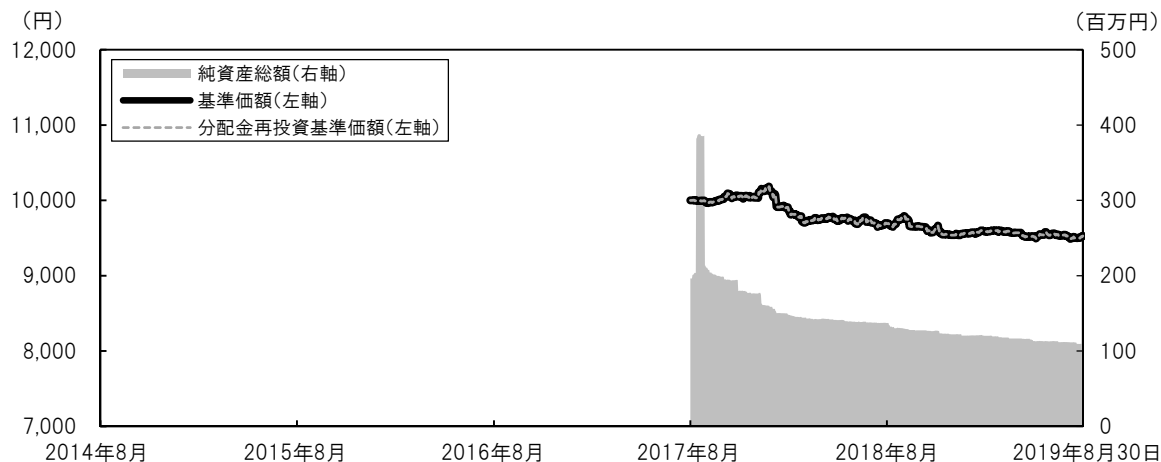
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

◀ 最近5年間の基準価額等の推移 ▶ (2014年8月30日～2019年8月30日)



- (注1) 設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2017年8月31日から2019年8月30日)のみの記載となっております。
 (注2) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

	2017年8月31日 設定日	2018年8月30日 決算日	2019年8月30日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,699	9,529
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.01	△ 1.75
純資産総額 (百万円)	196	137	109

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年8月30日の騰落率は設定当初との比較です。

◀ 投資環境 ▶ (2018年8月31日～2019年8月30日)

米中貿易交渉行方の不透明感を背景とした世界景気への不透明感から、日本株式市場は軟調な推移となりました。

一方、債券市場においては、米国が2019年7月末に利下げを実施するなど金融緩和期待が高まったことなどから、日本を含む先進国債券市場は堅調な展開となりました。

◀ 当ファンドのポートフォリオ ▶ (2018年8月31日～2019年8月30日)

＜ 当ファンド ＞

「ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X」への投資を通じて、日本債券および海外債券に分散投資を行います。また、「SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて市場変動リスクが少ないと判断される局面で日本株式市場へ資産配分を行います。両ファンドへの投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

＜ ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X ＞

日本債券および海外債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

＜ SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用) ＞

市場変動リスクが少ないと判断される局面において日本株式市場への投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

◀ 当ファンドのベンチマークとの差異 ▶ (2018年8月31日～2019年8月30日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

◀ 分配金 ▶ (2018年8月31日～2019年8月30日)

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を勘案し、次の通りいたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

● 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期	
	2018年8月31日～2019年8月30日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	—	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

< 当ファンド >

引き続き、「ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X」への配分比率70%程度、「SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)」への配分比率30%程度を基本とし、日本債券や外国債券および日本株式市場に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることをめざして運用を行います。

< ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X >

日本債券市場は、今後とも金融緩和的な政策が維持されるとの見方が広がっています。

海外債券市場では、米国での追加利下げが期待されて、今後とも債券市場は堅調な推移が見込まれます。

当戦略の運用においては、引き続き、世界経済や金利動向に加え、発行体毎のファンダメンタルズ等を考慮し、投資妙味があるとみられる銘柄を厳選し投資を行う方針です。

< SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用) >

当戦略の運用においては、株式市場の変動率が高まる局面では日本株式への実質的な配分比率を見直し、日本債券の配分比率を高めるなど、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指していく方針です。

お知らせ

該当事項はありません。

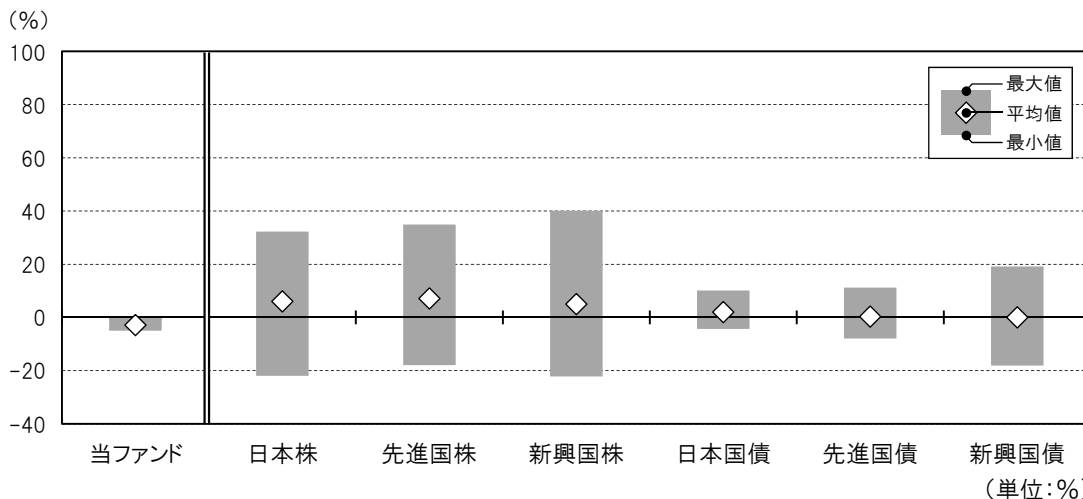
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限(2017年8月31日設定)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券*を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 主として、投資対象ファンドへの投資を通じ、日本債券の運用により安定性を保ちながら、機動的な資産配分比率の見直しにより、より安定的かつ高いターンの獲得を目指します。 ② 投資対象ファンドへの配分比率は、以下のとおりとすることを基本とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の公社債および外国債券を主要投資対象とする投資信託証券への配分比率:70%程度 ・わが国の公社債、短期金融資産、長期国債先物等および株価指数先物を主要投資対象とする投資信託証券への配分比率:30%程度 ③ 上記の投資配分比率には一定の変動許容幅を設け、一定以上かい離れた場合にはリバランスを行います。また、市況動向等の変化に応じて、投資配分比率の見直しを行う場合があります。 ④ わが国の公社債、短期金融資産、長期国債先物および株価指数先物を主要投資対象とする投資信託証券において、債券および株式の資産配分比率の変更が行われます。 ⑤ 株式市場の変動率が高まる局面では、基準価額の変動リスクを抑えるため、日本株式への実質的な配分が行われない場合があります。 ⑥ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	<p>毎決算時(年1回、毎年8月30日。休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配金は決算日から起算して5営業日以内に支払いを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分配対象額の範囲 経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・ 分配対象額についての分配方針 委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 ・ 留保益の運用方針 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

*「別に定める投資信託証券」とは、円建外国投資信託「ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X」および国内投資信託「SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)」です。

(参考情報)

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2014年8月～2019年7月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	△ 1.1	32.2	34.9	40.1	10.1	11.2	19.2
最小値	△ 5.0	△ 22.0	△ 18.0	△ 22.2	△ 4.3	△ 7.9	△ 18.1
平均値	△ 2.9	6.0	7.1	5.0	2.0	0.3	0.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては直近1年間の騰落率データがないため掲載していません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株 S&P先進国総合指数(除く日本、配当込み、円ベース)

新興国株 S&P新興国総合指数(配当込み、円ベース)

日本国債 FTSE日本国債インデックス

先進国債 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債 FTSE新興国市場国債(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

※ 各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

◀ 組入資産の内容 ▶ (2019年8月30日現在)

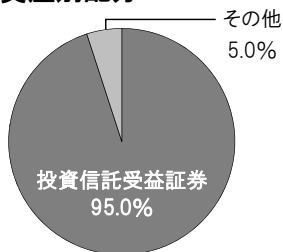
● 組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X	61.0%
SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)	34.0%
組入銘柄数	2銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

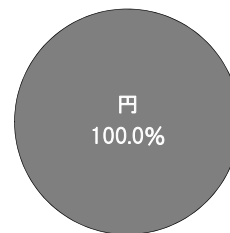
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券の債券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の債券評価額に対する比率です。

◀ 純資産等 ▶

項目	第2期末
	2019年8月30日
純資産総額	109,505,428円
受益権総口数	114,921,818口
1万口当たり基準価額	9,529円

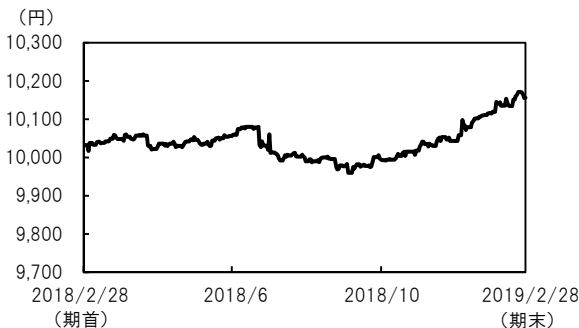
(注) 期中における追加設定元本額は3,194,984円、同解約元本額は29,889,055円です。

◀ 組入上位ファンドの概要 ▶

■ ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X

※ 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

● 基準価額の推移 (2018年3月1日～2019年2月28日)



● 1万口当たりの費用明細 (2018年3月1日～2019年2月28日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

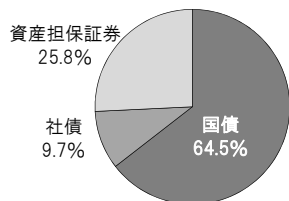
● 組入上位銘柄 (2019年2月28日現在)

銘柄名	債券種別	クーポン	償還日	通貨	比率
1 日本国債 10年利付国債(第353回)	国債	0.100%	2028/12/20	JPY	20.9%
2 フレディマック TBA ゴールド	資産担保証券	3.500%	2049/03/13	USD	6.3%
3 日本国債 20年利付国債(第147回)	国債	1.600%	2033/12/20	JPY	6.0%
4 ファニーメイ TBA	資産担保証券	3.500%	2049/05/13	USD	5.6%
5 日本物価連動国債(第17回)	国債	0.100%	2023/09/10	JPY	5.4%
6 日本国債 30年利付国債(第61回)	国債	0.700%	2048/12/20	JPY	5.3%
7 日本国債 20年利付国債(第139回)	国債	1.600%	2032/06/20	JPY	4.3%
8 住宅金融支援機構(第42回)	機構債	1.430%	2045/11/10	JPY	2.8%
9 ニクレディ・リアルクレディ	社債	2.000%	2047/10/01	DKK	2.4%
10 日本国債 30年利付国債(第60回)	国債	0.900%	2048/09/20	JPY	2.2%
組入銘柄数				185銘柄	

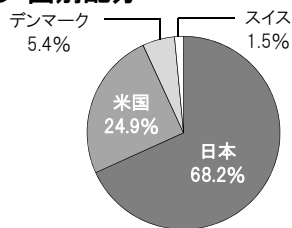
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

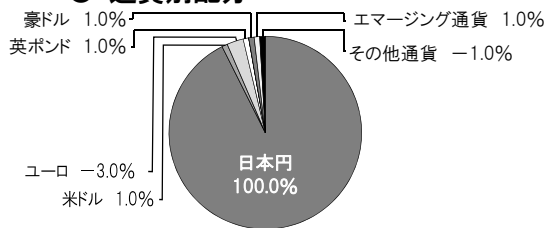
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2019年2月28日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

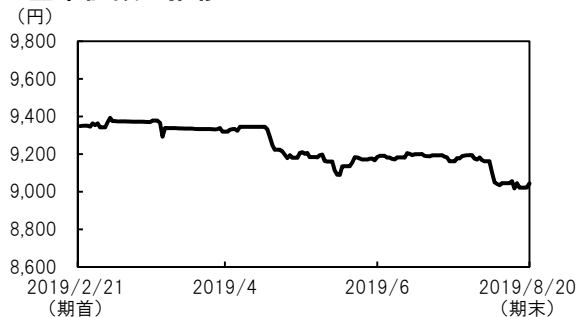
(注3) 国別配分は債券評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

■ SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)

※ 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

● 基準価額の推移 (2019年2月21日～2019年8月20日)



● 1万口当たりの費用明細 (2019年2月21日～2019年8月20日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	1円 (0) (0) (1)	0.01 % (0.00) (0.00) (0.01)
(b) 売買委託手数料 (先物・オプション)	3 (3)	0.03 (0.03)
(c) その他費用 (監査費用)	59 (59)	0.64 (0.64)
合 計	63	0.68

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

● 組入上位銘柄 (2019年8月20日現在)

(1) 現物資産

当期末における組入れはありません。

(2) 派生商品

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国/地域	比率(%)
1	日経225mini	株式先物(買建)	円	日本	27.6
組入銘柄数				1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2019年8月20日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所((株)東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

S&P先進国総合指数(除く日本、配当込み、円ベース)は、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、S&P先進国総合指数の出典はブルームバーグです。

S&P新興国総合指数(配当込み、円ベース)は、S&P新興国総合指数(配当込み、USドルベース)を円換算したものです。世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、S&P新興国総合指数の出典はブルームバーグです。

FTSE日本国債インデックス、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、および、FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCまたはその関連会社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。